

平成27年度 香川県特色ある体力づくり推進学校(園)表彰調査票

記載責任者 職・氏名(教頭)(茨木 正浩)

学校(園)名	三豊市立比地大小学校	学校(園)長名	
		小林トシ江	
学校所在地	香川県三豊市豊中町比地大 2514 番地 1 電話 (0875) 62 - 2124	児童生徒数	学級数
		80 人	7 組

1 体力づくりを推進する上での学校(園)の課題

- 男女とも、多くの学年で長座体前屈の値が低く、県平均を下回っている。
- 1年女子・2年男子・3年男子・4年男子・5年女子・6年男子は総合得点で県平均の値を上回っているが、1年男子・4年女子・5年男子・6年女子において、総合得点で県平均の値を下回っている。
- 毎朝、朝の活動前に10分間ほど、体力づくりのために自主マラソンとして、曲に合わせて、目標周数を走っている。そのために、どの学年も持久力(シャトルラン)は県平均を上回っているが、だらだらと走っている子もいる。
- 休み時間等には元気よく運動場で遊んでいる姿が見られるが、昼休みなどは給食の片づけ等があり、運動場で十分な時間遊ぶことができている子もいない。また、多くの子どもたちがボールを使った遊びや鬼ごっこ系が中心で、遊具などで遊ぶ姿はあまり見られない。
- 体育の授業においては、学年ごとに学習内容を設定して授業を行っているため、縄とびや持久走、水泳以外では、小規模校のために他の学年と競い合うことができていない。

2 平成27年度の体力づくりの重点目標と全体計画

(1) 重点目標

① 体力づくりの日常化

<縦割色別班活動>

- 体力づくりタイム(毎週火・木曜日の朝)に全校児童が縦割色別班に分かれて、運動を行う。
- 各体育的行事を年間計画に基づいて実施する。

<自主活動>

- 朝の自主マラソン(さわやかマラソン)を奨励して、自主的な体力づくりをめざす。
- チャレンジ大会(比地大っ子チャレンジ)や個人カードをもとに、年間を通して一輪車、竹馬、なわとび、ボールキャッチ等の種目に取り組みせ、表彰することで意欲を高める。
- 放課後、運動能力の向上や各種大会に向けた特別練習を4年生以上に実施する。

② 正課体育の授業の充実

- 副読本を利用して、単元構成や学習過程工夫し、子どもの能力に応じた基礎・基本的な運動能力を育てる。
- 各運動の特性を知り、それぞれの運動の楽しさを教えることにより、自主的活動の態度を育てる。
- 個々の児童の能力と特性に応じた学習指導を推進する。

(2) 全体計画

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体力づくり (毎週火・木朝)	リレー ラジオ体操	運動会練習 ラジオ体操	一輪車・竹馬 ボールキャッチ アスレチック	ラジオ体操		一輪車・竹馬 ボールキャッチ アスレチック	リレー	リレー	なわとび	なわとび つなひき	つなひき	
新体力テストの実施												
体育大会		運動会		水泳大会		ドッジボール大会		リレー大会	マラソン大会		なわとび大会	
特別練習	陸上	水泳							陸上			
自主活動	朝のさわやかマラソン・一輪車・竹馬・なわとび・アスレチック											

3 体力づくりの取組み状況

(1) 重点的に取り組んでいる項目に、3つ以上○をつけてください。

項 目	重点
ア 戸外遊びができる時間や場（園庭環境等）の確保<幼稚園>	
イ 園外保育の積極的な実施<幼稚園>	
ウ 教材・教具や場を工夫した体育・保健体育の充実	○
エ 始業前や休み時間、放課後等を利用した体を動かす機会の設定	○
オ 意欲的に取り組める行事の工夫	○
カ 運動部活動等の運営の工夫<中学校>	
キ 体力向上に向けた家庭・地域との連携	
ク 望ましい生活習慣、食習慣を確立する取組	○

(2) 重点項目について取組み内容や方法等を書いてください。

【具体的な目標】

- 長座体前屈の記録が伸びた児童の割合を、H28年度までに80%にする。
- 鉄棒運動で逆上がりができる児童を、H28年度までに50%アップさせる。
- 運動場で元気に遊ぶことで、心身ともにたくましい児童を育成する。
- 縦割色別班活動で、励まし合い協力し合うことを通して、思いやりのある児童を育成する。

【取組み内容と方法】

(1) 縦割色別班での体力づくり

- 体力づくりタイム（毎週火・木曜日8：00～8：15健康観察終了後集合）

[1学期]	[2学期]	[3学期]
4月 色別対抗リレー	9月 色別対抗リレー	1月 縄跳び
5月 運動会練習	10月 一輪車・竹馬・綱引	2月 綱引き、大縄跳び
6月 一輪車、竹馬、綱引 ボールキャッチ	ボールキャッチ	
7月 ラジオ体操	11月 マラソン、大縄跳び	
	12月 縄跳び	

(2) 比地大っ子チャレンジ

- 毎月第2・4木曜の思いっきりタイム（2限後）に各種チャレンジ大会を行う。
・ 自由参加とし、運営は体育委員会が行う。

(3) 各種体育大会の実施

- 運動会（5月）
- 水泳大会（7月）
- ドッジボール大会（9月）
- リレー大会（10月）
- マラソン大会（12月）
- なわとび大会（2月）

(4) 正課体育の充実（「わたしたちの体育」の活用）

- 柔軟運動の位置づけと時間確保
- 総運動活動時間の確保
- 運動基礎技能の習得（合同体育で指導計画を立てる）

(5) 放課後特別練習

- 目標
 - ・ 児童の発達段階を考慮しながら、継続的・専門的な指導を行い、水泳・陸上競技の能力に関わる運動能力の向上を図る。
 - ・ ねばり強い心と記録に挑戦しようとする心を育成する。
- 指導の概要
 - ・ 指導者 全職員（体育主任、3～6年の担任を中心に全職員）
 - ・ 指導の対象 3～6年の児童

○ 年間計画

水泳練習	6月～7月	各種目練習、飛び込み、ターン、リレー
陸上練習	4月～翌年3月	各種運動トレーニング、リレー

○ 指導時間

- ・ 平日 15:50～17:30
- ・ 大会や記録会に合わせて、休日も適時実施する。

【活動の様子】

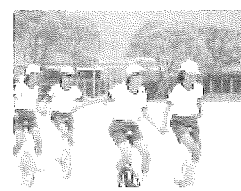
毎週火・木曜日を体力づくりに

毎、火・木曜日を「体力づくり」と日課表に設定し、朝の活動(15分)で、全校生がしっかりと体を動かしている。



年間を通した様々な運動の実施

楽しみながら鉄棒・遊具・一輪車等に取り組むことで、握力やボール投げの向上や様々な動きの基本につながるように活動している。

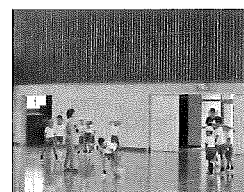


遊具を使った運動に挑戦

一人で行うだけでなく、異学年の子どもたちと競い合いながら、子どもたちが積極的に遊具で遊ぶことができるように評価カードを取り入れている。年間に2月ではあるが、朝の体力づくりで遊具を使った活動を行うとともに、正課体育の準備運動に取り入れている。

2学年での合同体育の実施

小規模校での人数を確保し、なおかつ競い合いができるようにするために、合同体育を取り入れている。



4 成果と課題

成果

- (1) 新体力テスト結果の分析をもとに、朝の時間や正課体育において、本校の児童の弱点である柔軟性や握力・跳躍力を身に付けさせるための各種運動を取り入れた体力づくりが展開できている。
- (2) 遊具の評価カードを取り入れたり、日常的に使用できる環境を整備したりしたことによって、子どもたちは、休み時間や放課後の時間を利用して、それらの運動により親しむようになった。
- (3) 放課後特別練習に熱心に励んでいるため、小規模校であるが、陸上や水泳の各種大会において入賞する子が増えるなど、少しずつ成果が現れている。

課題

- (1) 2月に、保護者と地域の方々と一緒に七宝山への登山をしている。これは、歴史が深く、伝統となっている。また、年1回であるが授業参観後に親子ふれあいダンスを実施している。このような保護者や地域とともにやる体力づくりを今後増やしていきたい。
- (2) 体力づくりは食や生活習慣と密接な関係があるため、今後は体力づくりと同時に、食育指導も含めた児童の生活習慣の見直しと改善を図りたい。

※ 新体力テスト等数値で表された資料等がありましたら添付して提出してください。